



信行 議員  
野本 議員  
公民館体制見直し  
地区説明会の集約は

平成23年4月からの新  
体制への移行に問題は

質問

2回目の地区説明会を通じ  
地域住民の心配や地区公民館  
活動の広域化による問題、支  
館活動への影響など新体制へ

の移行に問題がないか伺う。

また、経過措置を3年から5  
年に設定しているが地域により  
なじまないケースも想定される  
がどう考えているのか伺う。

教育長答弁

統一の必要性は、おおむね  
理解いただいたと考えている



達夫 議員  
池田 議員  
北陸新幹線と  
並行在来線問題は

新幹線整備での当市へ  
の影響は

質問

各地の在来線を守る運動で  
問題となってきたという、県・  
上越市とJR東日本との信越  
本線脇野田駅の移設事業交渉

内容である「並行在来線の一  
括在姿譲渡」について、当市  
への影響はないのか、また、  
今後の三セク会社の中で予  
想される赤字負担について  
伺う。

市長答弁

当市に関係する北陸本線

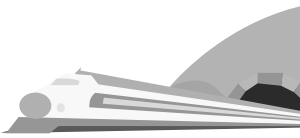
が現状の制度が変更となる部  
分は、不安の声も聞いている。  
経過措置の期間中に、公民館  
での活動内容や事業費配分の  
方法を地区住民と相談してい  
きたい。

また、広域化する新地区公  
民館活動は、スケールメリット  
を生かしたのも可能だが、  
行事を計画する際は、地区住  
民が参加しやすいように配慮  
する。

経過措置期間中も含め、公  
民館体制等見直しの基本方針  
(案)の中で毎年度、生涯学習  
推進委員会などで課題を審議  
し、見直しを図っていく。

は、現時点ではJR西日本  
の考え方が示されていないこ  
とから、一括在姿譲渡といわ  
れる鉄道施設をそのままの  
形で譲渡するのは不明で  
ある。

また、今後の赤字負担は、  
並行在来線株式会社や新潟  
県、上越3市で検討を進め  
ていく。



今年度策定の  
第2次行政改革大綱は

質問

第2次行政改革大綱と行政  
改革実施計画による健全財政  
運営の見直し、行政経営への  
転換、適正な定員管理と組織  
機構の見直しについて伺う。

市長答弁

健全財政運営の見直しで  
は、公共施設耐震化などの  
整備がある一方、26年度で合  
併の優遇特例が終わるため、  
大変厳しい財政運営となる見

込みである。

行政改革は管理運営面を重  
点に取り組んできたが、第2  
次では取り組みのスピードな  
ど目に見える成果を出してい  
くような行政経営へと転換  
を図る。

また、適正な職員数とすべ  
く26年度末に57人とする定員  
適正化計画を進めてきたが、  
23年度当初には達成する見込  
みであり、今後は、保育士な  
どの専門職の現状などを精査  
し、新たな計画を策定する。

柵口温泉センターの  
民間への無償譲渡は

質問

温泉センター存続を図るた  
め民間譲渡の予定であるが、  
温泉センターが、能生地域で  
現在の役割を果たしていくに  
は、市が存続に責任を持つべ  
きではないのか考えを伺う。

市長答弁

温泉センターは、地域の共  
同浴場を併設した地域の集会  
施設の役割を担ってきた。  
民間への無償譲渡の条件と

しては、現行利用料金で継続  
する場合に限り、21年度の赤  
字額と固定資産税相当額等の  
合計の約2分の1程度を3年  
間に限り運営費補助金とする  
が、今後の設備改修費などは、  
譲渡後の所有者の責任であり、  
経営が行き詰った場合でも、  
譲渡会社が責任を持って経営  
に努めてもらう。

なお、市では温泉センターの機  
能を権現荘で担う予定である。

《その他質問項目》

・県アンケート「市町村合  
併の中間評価」